

日本橋梁建設協会からの要請 設計会社各位

## 1. 現状把握

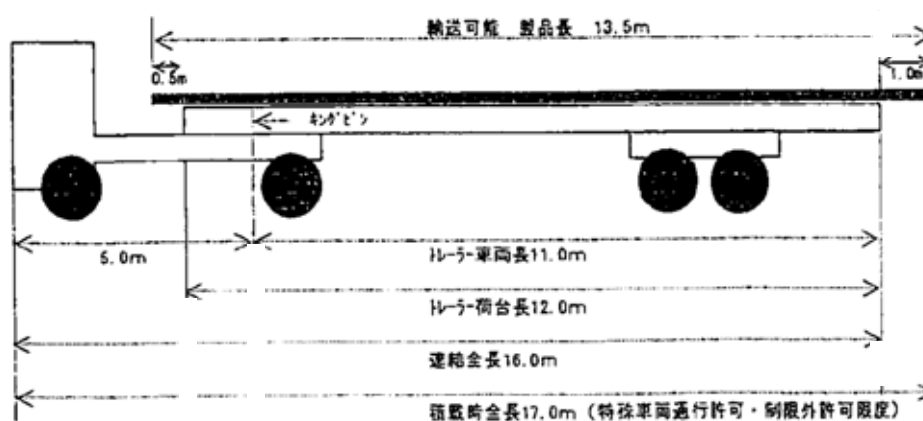
鋼材の需要が多く供給が逼迫する中で、「入手できる寸法」・「入手までの期間」が従来と異なってきたので、現状を承知しておく。

## 2. 入手可能寸法

特別緩和車両を用いて斜め積みすれば、板幅:3.620mまで運べるといったのが、これまでの常識だったが、「陸上輸送規制」を踏まえて、板幅:2.491m、板長:13.500m以下に抑えてくれというのがあみルメーカーの言い分。緩和車両・斜め保持台を使用するような板寸法では、車両保有台数の関係から納期が大幅に遅れることになるし、場合によっては、供給を辞退すること。

それでは海上輸送すればとの考えもあるが、シェアリングを外注する場合など、陸上輸送が避けられないし、どこのファブリケータも大寸法板の使用を望んでいない。できるだけ、2.491×13.500m以下に抑えておくべきである。

基準内車両（平ボディ）



## 3. 入手までの期間

鋼材の入手までの期間が延びている。各ファブリケータは身を守るため、年間予約(発注予定トン数)をミルメーカーに入れて早期供給を要請しているが、それでも入手までには3~4ヶ月ほどを要する。予約のない突発案件に対しては、10ヶ月を要した例があるなど尋常な市場形成がなされていない。われわれが施工計画を立てる場合には材手期間としては4ヶ月とせざるを得ない。

車種別の積載可能幅

		車両幅内 (制限外許可不要)	車両幅オーバー (制限外許可必要)
基準内車両	(平ボディー) トレイラー	<p>製品巾2.491m 車両巾2.491m (複数可)</p>	<p>製品巾は、許可範囲内 車両巾2.491m (単体指定)</p>
	基準内傾動台車	<p>製品巾3.3m 車両巾2.491m (複数可)</p>	<p>製品巾は、許可範囲内 車両巾2.491m (単体指定)</p>
緩和車両	バラ緩和車	<p>製品巾2.2m スリッパ 車両巾2.491m (複数可)</p>	<p>スリッパ型であり、2.2m以上は実質不可</p>
	巾緩和	<p>製品巾2.990m 車両巾2.990m (単体指定)</p>	<p>製品巾は、許可範囲内 車両巾2.990m (単体指定)</p>
	巾緩和傾動台車	<p>製品巾3.62m 車両巾2.990m (単体指定)</p>	<p>製品巾は、許可範囲内 車両巾2.990m (単体指定)</p>

## 日本橋梁建設協会からの要請

平成19年 8月 日

設計会社各位

橋梁用厚中鋼板の陸上輸送規制に伴う対処のお願い

社団法人 日本橋梁建設協会  
会 長 川田 忠樹

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年6月に高炉メーカー各社より橋建協各社に対し「橋梁用厚中鋼板の陸上輸送規制を踏まえた今後の対応について」という表題にて、幅広・長尺の鋼板については規制の関係から輸送ができなくなるとの主旨の対応要請がありました。この件につきまして下記のとおり要望致したくお願い申し上げます。

### 要 望 事 項

1. 今後の鋼橋の設計においては、陸上輸送規制を反映した部材寸法にさせていただきますよう、会員各社へのご周知をお願い致します。

下記に、今回の陸上輸送規制における内容とその要請をうけた場合の問題点について記載しましたので、厳しい状況をご理解いただきたくよろしくお願い申し上げます。

#### 【 陸上輸送における制約と発生する問題点について 】

- ① 幅 3.30 m 超 もしくは 長さ 13.50 m 超  
陸上輸送許可は下りないため、陸上輸送許可範囲への構造変更、もしくは海上輸送へ変更
- ② 幅 2.49 m 超 3.30 m 以下 かつ 長さ 13.5 m 以下  
陸上輸送許可は、単体輸送となることから、車両台数の不足によって納期遅延の可能性が大  
海上輸送への変更は、台船の不足等によって、納期遅延の可能性が大  
→ 高炉メーカー各社の話では、平成20年度から複数枚積載可能な基準内傾斜台車を新規に導入して対応するとのことであるが、輸送体制準備に時間がかかるとともに、台車製造コストが鋼板価格に反映されることが予想される
- ③ 幅 2.49 m 以内 かつ 長さ 13.50 m 以下  
陸上輸送は可能であるが、①、②の状況から、鋼板輸送の全体能力がオーバーフローする可能性があり、納期遅れの発生や新たな輸送車両の手配によるコストアップが危惧される

以 上